

## 平成26年8月教育委員会会議の要旨

### 1 日時

平成26年8月22日(金) 14時00分～16時25分

### 2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

### 3 出席委員

大野委員長、國弘委員、宮原委員、横山委員、佐々木委員、岩城委員(教育長)

### 4 欠席委員

竹内委員

### 5 事務局

山根教育部長、田中教育部次長、眞砂教育総務課長、田中教育施設管理課長、  
江山学校教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、小野教育総務課主幹、  
中村教育総務課主査

## (議案)

### ○議案第1号「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」

#### (概要)

議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について(大歳小学校屋内運動場・給食室増改築工事の請負契約の締結について)、付すべき意見なしで承認された。

#### 1. 内容

・大歳小学校屋内運動場・給食室増改築工事の請負契約の締結について、市議会の議決を求めるもの

#### (主な意見や質疑)

なし

### ○議案第2号「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」

#### (概要)

議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について(宮野小学校プール増改築工事の請負契約の締結について)、付すべき意見なしで承認された。

#### 1. 内容

・宮野小学校プール増改築工事の請負契約の締結について、市議会の議決を求めるもの

#### (主な意見や質疑)

なし

## ○議案第3号「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」

### (概要)

議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について(仁保中学校屋内運動場増改築工事の請負契約の締結について)、付すべき意見なしで承認された。

### 1. 内容

・仁保中学校屋内運動場増改築工事の請負契約の締結について、市議会の議決を求めるもの

### (主な意見や質疑)

質問 : 屋内運動場の面積は、何によって決まるのか。

回答 : クラス数によって決まる。

質問 : 既設の面積と比べると、どのくらい大きくなっているか。

回答 : 床面積が700㎡から、倍の1,400㎡になっている。

## (協議事項)

### ○協議第1号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」

### (概要)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、事務局から提案があり、協議した。

### 1. 提案理由

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価にあたり、外部有識者の意見を活用するため。

### (主な意見や質疑)

意見 : 地域の力を学校の授業で活用することについては、各学校で成果を上げているものを情報公開していく必要がある。また、各学校に配置したコーディネーターの参考となるような研修会を開催し、各学校で情報交換することも必要である。

意見 : 外部有識者に意見を聴取するときには、項目を限定して意見をお願いするか、あるいは、指標の立て方についてどう思われるかを聞くことも1つの方法ではないかと思う。また、指標を動かさないのであれば、そのことを有識者に説明した上で、それ以外の部分についての意見をお願いすべきである。

質問 : 図書館の入館者数を増やしていくことについては、スタッフによるソフト面の改善が必要であるが、何か考えているのか。

回答 : 図書館を利用される方の満足度を上げられるよう、今後は、研修などにより、司書の専門性を磨き、司書を育てることで、レファレンスサービスを充実させて、市民に誇れる図書館、役に立つ図書館にしていかなければならないと思っている。

## ○協議第2号「教育委員会の施策経営方針について」

### (概要)

教育委員会の施策経営方針について、事務局から提案があり、協議した。

### 1. 提案理由

来年度予算編成に向けた教育委員会の施策経営方針について協議するため。

### (主な意見や質疑)

意見： 「山口市いじめ防止基本方針」については、保護者や地域の方にもわかってもらえるよう、PRしていくことも考えていかなければならない。

意見： 地域と学校の連携については、現在、地域交流センターと中学校の数が一致していない状況であるため、地域に配置するコーディネーターを地域交流センター主体に置きながらも、学校にも居場所をつくるなど、横の連携ができる体制を考えていかなければならないと思う。

質問： 「あすなろ第1教室」の移転については、小郡なら交通の便もよくなるであろうと期待できるが、いつ頃になるのか。

回答： 来年度の予算が確保できたとしても、おそらく1年では難しいため、平成28年度末くらいになろうかと思う。

質問： 私立幼稚園と市立幼稚園との保育料の料金格差について、市立幼稚園の保育料の引き上げも視野に整理していくとあるが、保育料の引き上げによる低所得者への支援については考えているのか。

回答： 現在の料金制度には、私立幼稚園と市立幼稚園のいずれにも、低所得者への対応があるため、それを大切にしながら、全体的に見直すという形になる。

## ○協議第3号「山口市立幼稚園管理規則の見直しについて」

### (概要)

山口市立幼稚園管理規則の見直しについて、事務局から提案があり、協議した。

### 1. 提案理由

山口市立幼稚園において3歳児保育を実施するにあたり、山口市立幼稚園管理規則の見直し(入園資格及び定員)について協議するため。

### (主な意見や質疑)

質問： 4歳児と5歳児の2クラスからなる秋穂幼稚園には、正規の主任職員1名と一般職員1名が配置されているが、3歳児と4・5歳児の複式の2クラスからなる鑄銭司幼稚園には、正規の主任職員1名が配置されているだけであり、なぜ正規の一般職員が1名配置されていないのか。

回答： 鑄銭司幼稚園の3歳児は試行であり、正規職員の配置が認められていないため、代わりに、フルタイムの臨時職員を補助教員という形で配置しているところがある。

質問 : 3歳児の定員が10人、4歳児と5歳児の定員をそれぞれ35人から20人として  
いるが、その減らした分は、私立幼稚園でみてもらうからよいということか。

回答 : そういうことではなく、3歳児の定員については、施設や職員等の状況を勘案し  
て10人とした。4歳児と5歳児の35人定員については、現在、大幅な定員割れが  
続いているため、それぞれ定員を15人減らしたものであるが、現状からみて、十  
分な定員が確保されていると考えられる。